

# たより



://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo  
E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

令和3年12月14日  
伊勢市教育研究所  
伊勢市小俣町元町540番地

## 令和3年度 夏季教職員研修講座を振り返る (授業力向上編)

### 授業づくり (プログラミング)



#### 「小学校から中学校に連携したプログラミング教育のあり方」

講師:平井 聡一郎(文部科学省 ICT 活用教育アドバイザー)

昨年度、伊勢市の「GIGA スクール構想の実現に向けた教職員対象研修会」でご講演いただいた平井 聡一郎先生に、今年度は小中学校の各プログラミング教育の授業づくり及びあり方についてご講演いただきました。

「これからも必要とされる仕事は、コミュニケーション・クリエイティビティ・スペシャリティが求められるもの。」それらを身に付ける教育をしていかなくてはならない。  
「なくなる仕事・残る仕事」子どもたちには、自分たちと同じ仕事は残らない。先を見据えた力を身につけていけるように授業を工夫していかないといけない。(感想より)

### 授業づくり (国語) 「小学校国語科の授業づくり



#### ～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善～」

講師:大塚 健太郎(文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための小学校国語科の授業づくりについてご講演いただきました。また、伊勢市の全国学力・学習状況調査の結果から見て取れる課題解決のためのご助言をいただきました。

「自覚的」「自立した学習者」お話を聞かせていただく中で、子ども自身が「自立した学習者」になるために、今何を学ぶのか・それをどのようにいかにさせるのかを、子ども自身がつかむことの大切さを改めて感じました。そして、それが、生涯にわたって学び続ける基盤となるのだと思います。また、これらのことは、教師自身にも言えることで、何を伝えたいのか・何を学ばせたいのかを明確に持っていることが大切であると、改めて感じました。(感想より)

### 授業づくり (英語)

オンデマンド型

#### 「小学校英語の授業づくり～①インプット

#### ②内在化③アウトプットの三段階を意識する～」

講師:荒井 和枝(筑波大学附属小学校教諭)

単元構成は、言葉の習得過程①インプット②内在化③アウトプットの三段階を意識して構成することが大切であるということについてお話しいただきました。また、「アクティビティ」について、具体的な手立て(指導方法)をご教授いただきました。



「小学校英語は、子どもたちが英語を使ってみたいと思うことが大切である。」教科化された外国語に苦手意識を持っている子がいるのが現実である。なるべく楽しい活動や、教師も英語を頑張っている姿などを見せていく必要があると感じた。(感想より)



## 陶芸教室 10月 会場:小俣老人福祉会館 集会室

10月15日(金)伊勢文化サークル協会の会長:北河新松さんに『陶芸教室』を行っていただきました。小俣陶芸サークルの皆さんに、土のこね方や伸ばし方、型の抜き方、土の表面の整え方などを丁寧にアドバイスしていただき、子どもたちは満足いく作品を仕上げることができました。子どもたちの感想には、「土がかたく、すぐにかわいて固まってしまい、思ったように形を作り上げることができず苦戦しました。お皿にはひだを作り少し工夫しましたが、ひだの大きさや土の厚さがバラバラになってしまいました。ですが、それも一つの良さにとらえることにします。出来上がりがすごく楽しみです。」「早く家に持って行って、お茶とかジュースを入れてみたいです。」「伸ばすのに苦労して、形を整えるのも大変だったけど、完成したらやっとできた感じがしました。」「初めは少し緊張したけど、やればやるほど楽しかった。」などと書かれていました。1時間30分ほどの作業時間があっという間に過ぎてしまうほど、真剣にまた楽しそうに取り組んでいる様子が印象的でした。



## みかん狩り 11月 会場:ないぜしぜん村

11月12日(金)穏やかな風と晴天のもと、南伊勢町の『ないぜしぜん村』でみかん狩りを体験しました。五ヶ所湾に面した南向きの斜面で、たくさんみかんを採った後、素晴らしい景色を見ながらみんなで弁当と採りたてのみかんを食べました。「みかん狩りも楽しかったけど、山を登っている



時にみんなとワイワイして歩けたことも楽しかった。」「従業員さんのように自分のもっているみかんの知識を周りに教えて、美味しいみかんをみんなで収穫するのが楽しかった。」という感想のとおり、みかんの収穫だけでなく、自然の中で楽しくおしゃべりできたことも、思い出になりました。



## 絵手紙教室 12月 会場:大研修室



12月2日(木)柴田多嘉代さんを講師としてお招きし、『絵手紙教室～年賀状を作ろう～』が行われました。子どもたちは集中して取り組み、送る相手のことを考えながら来年の干支であるトラを描きました。絵が苦手だと話していた子も、“へたでいい へたがいい”という柴田先生からの言葉を受けて、何枚も楽しそうに描いていました。描き終わった後は全員の作品を並べ、柴田先生にうまく表現できている点についてそれぞれほめていただきました。照れながらも嬉しそうにする子どもたちの姿が印象的でした。絵手紙教室を終えた子どもたちの感想には「先生にほめられて恥ずか

しかった。けど嬉しかった。」「楽しかった。柴田先生から『色を付けないのもいいね。』と言われて嬉しかった。」「上手く描けました。おばあちゃんに送ったら、また電話でほめてくれそうです。」「最初は絵を上手く描けるか不安だったけど、思いどおりに描けてよかった。」と書かれていて、楽しく充実した時間になったことが伝わってきました。